

有害情報対策

～有害サイトから子供を守る対策について～
引き続き対策を講じたい

問 携帯電話等のインターネット上で子供が事件に巻き込まれるケースが相次いでいることから「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境整備法」有害サイト対策法が国会で成立、携帯電話会社等ではフィルタリング義務化も検討中のようなが本町においても早急な対策が必要、取組みについて尋ねる。

答 町内小中学校では総務省、文部科学省、電気通信事業者協会等多くの関係団体で組織する啓発講座、eネットキャラバンの研修会等を利用して、保護者・教員・子供が一緒になってインターネットの被害から守る方策を考えたり研修もしている。今後も更に関係機関と連携し、子供達がトラブルに巻き込まれないようにしたい。

健康対策

特定健康診査、特定保健指導について
健康診査率の向上のための啓発に努めたい

問 急速に進む高齢化とそれに伴う医療費、介護負担の急騰を抑え持続可能な長寿社会を形成する為に今まで以上に生活習慣病予防、重症化防止（メタボリックシンドローム予防改善）を図る目的で実施されるこの事業の内容、本町での取組みについて尋ねる。

答 本町でも保険者である国民健康保険の四十歳から七十四歳までの被保険者を対象に特定健康診査を行い、その結果を基に、保健指導を必要とする方には、生活

習慣を改善するため、保健師や管理栄養士による支援や栄養指導、運動指導などを行う。生活習慣の改善、効果ある保健指導に積極的に努めたい。



西岡 恵子 議員

正法寺川の浄化

水環境改善緊急行動計画
(清流ルネッサンスII) について
今後も関係機関と連携しながら水質保全活動を更に進めたい

問 平成十五年度に水質及び水量を対象として水環境の健全化を図る為に清流ルネッサンスIIを実施する川として国交省より選定されている。主体は徳島県だが、住民参画活動も推進しながら本町が積極的に水環境改

善に取組むことも要件とされている。目標達成最終年度(平成二十四年度)の中間点として進捗状況、今後の取組みについて尋ねる。

正法寺川 (新富吉橋下流)



答 今年度は約七百mの川底の堆積物浚渫を予定。また、新富吉橋下流部には河畔の水辺環境を生かした水辺の整備がされている。流域住民の活動としては、正法寺川を考える会により河川清掃やエコウォッシング活動などが展開されている。正法寺川水域汚濁の原因は、一般家庭からの生活排水が多くを占めており、住民の協力は欠かせない。

その他の質問

- 登下校の安全について(自転車通学の安全指導)
- 資源ごみの有効活用について(学校での回収の反響)
- 大型店舗出店計画について(排水及び周辺道路環境)